

「優しさ触れてうれしい」



学生が押し寄せた「もってけ市」
市＝22日、北海道函館市

学生ら支援の「もってけ市」

北海道函館

北海道函館市で、新型コロナウイルスの影響で生活や学業が大変になっている大学生を支援しようと「学生食糧支援プロジェクト実行委員会」が22日、食糧支援を行い、100

人を超える学生らが詰めかけました。

200キを越える米やジャガイモ、白菜、ホウレンソウなどをどっさり持ち込み、6種類の冷凍コロッケやカツパ、チョコレートなどの食料品、生活に欠かせないマスクと衣

料品もいっぱいです。米や野菜、食品は2時間でもなくなりました。卒業に追われている大学4年生は、ゼミがオンラインだとさぼりがちと言いい、「このようにたくさんいただけ、みなさんの優しさにも触れられ、本当にうれしいです」とにっこり。

バイト先がなくなっただという学生は「ほとんど困っていたので、とてもありがたい。ボランティアのみなさんの心遣いが温かくて、本当にうれしかったです」と感謝しました。

「北海道では野菜と果物はめっちゃ高いんだよ」と喜ぶ留学生や、「もってけ市」を年に3、4回開いてほしい」「みなさんに何か違う形で恩返ししたい」と思いました」と話

す学生もいました。中小企業家同友会や新日本婦人の会などの団体、日本共産党支部

が協力を申し出て、ボランティアの学生7人を含め、30人のスタッフで運営しました。